

---

# 夜 二人 飯

超電磁ボーイ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夜二人飯

### 【著者名】

N2328Q

### 【作者名】

超電磁ボーイ

### 【あらすじ】

シンジの家にお客さんです  
誰でしょう?

(前書き)

今回も、自信あります！

「綾波帰らうか」

「そうね」

今日は、アスカとミサトさんが泊まりで仕事になり僕一人なのである・・・

「アンタ！帰つたらハンバーグだからね！覚えておきなさい！」

とアスカは、大声で話しながら出て行つた

「シンちゃん、女の子連れ込んじゃダメよ」

とジヨークを言いながらアスカの後に続いてネルフに行つてしまつた

「さて、学校行こうかな

「クハ？」

後ろにいるペンペンに

「お留守番よろしくね、ペンペン」

「クハー！」

と鳴きながら自分の部屋に行つてしまつた

準備よし！

「行つてきます」

それから、昼休み

今日は、綾波と食べることにした

「一緒に食べていいく？」

こちらにむづくつと向ける

「うん」

「ありがとう、綾波」

といつものように弁当を渡すと

「ありがとう」

と言つてくれた

もちろん綾波の弁当は、野菜中心である

「おいしー」

僕が、笑顔を向けると少し顔に赤みが増えた気がした  
「今日、アスカとミサトさんがいないから、その・・・」

「何?」

「一人じゃ寂しいから一緒に食べない?」

「・・・いいの?」

「うん!もちろん」

とこんな感じで冒頭である

「まず、買い物行くからスーパー行くね」

「わかった」

行つてゐる間は、話題もなくスーパーについてしまつた

「着いたね」

「うん」

そんな感じで中に入つて行くと早速野菜コーナー

「野菜なら、なんでも食べれる?」

「食べれる後、魚も」

と言つたので

「鯛大根でいい?」

「いい」

と答えてくれた、少し笑顔にも思えた

「なら、大根と鯛買に行こうか」

と大根と鯛をカゴに入れると

「ついでに、明日のハンバーグの素材買つてもいいかな?」

と言つた

「いい」

と答えた

「ありがとう、綾波」

そして、お会計をすませて、帰り道・・また会話がなかつた  
(なんかないのか?!僕!!!)

そして、家

ウイーン

「どうぞ」

「お邪魔します」

そして部屋に入るとベンベンがテレビを見ていた

「クエックエ！」

「ただいま、ベンベン」

また、テレビに集中し始めた

「そこに座つて待つて」

「クリとうなずいたのを確認して、僕は部屋に入った  
着替えをすまして台所に行くと綾波がテレビを見ていた

「面白い？」

「面白い」

とうなずきながら答えた

「今から作るから待つててね」

「・・・・・」

テレビに集中しているのか反応してくれなかつた

1時間後

「綾波、準備できたよ」

「うん」

テーブルに並べると

綾波の目が輝いた気がした

「食べようか

「うん」

『『いただきます』』

そして食べ初めて少しすると

「鮒大根おいしい」

と笑顔？で言つてくれた

「よかつた、綾波の好みにあつて」

それから、10分して

「そろそろ、帰らないとね」

「うん、さよなら」

と言つて玄関に向かつたので慌てて

「待つて…家までおくるよー。」

「…？」

「もうろんだよ

少し照れながら

「ありがとう」

そして夜道…

「今日は、ありがとうね」

「何で、貴方がお礼を言つの…？」

と不思議そうな顔をしていた

「なんとなくだよ」

「そう」

そして、家に着いた

「またね、綾波」

「またね、碇君」

それから、少し歩いていると

「あの時の匂にみたいだな…

(後書き)

どうでしたか?  
感想などよろしくお願いします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2328q/>

---

夜 二人 飯

2011年1月26日05時41分発行